

precio

医師、人、プレシオ。

CAPITALregion
MARCH 2018
VOL.68 **3**

Japanese Antiques 日本の心がそこに宿っている

時空を超える和の逸品

洗練の美、茶道具／暮らしを彩る古美術、やきもの／
神が宿る、刀剣／骨董はロマン!?!／骨董市／近代美術

最先端の予防安全パッケージを搭載したフラッグシップセダン

目指したのは世界で最も安全なクルマ

安全性能の最前線を走る新型「LEXUS LS」

Live Report スティーヴ・ルカサー
クラブ空間で堪能するロック・スピリット

THE SCIENCE 海から電気を作り出せ!

日本の風景「神田明神」—— 東京

しんがり仕り候 —— 小説 勝海舟

Doctors White Paper

医療の世界で生きる女性たち



「匠大塚」会長・社長インタビュー 日本橋から発信する 世界のインテリア

文 / 近藤英嗣 写真 / 川島英嗣



匠大塚は独自のグローバルネットワークを活用して商品開発も展開。数々の有名ブランドの家具を製造するイタリアの工場とデザイナーのジョルジオ・ソレンツィ氏とコラボしたオリジナルブランド「エッセンサ」(1)、世界的に有名な工業デザイナー奥山清行氏(匠大塚顧問)率いる「KEN OKUYAMA DESIGN」とコラボした匠大塚オリジナルモデル(2)など。熟練した「匠」の伝統技術や革新的なものづくりの魅力を様々なアプローチで発信している。

匠大塚東京日本橋ショールームにて。個人需要はもちろん、病院・クリニックなどあらゆる施設へのインテリア提案の場として2016年4月にオープンした。フロア面積は3000㎡。都心にいることを忘れてしまふほどの広さに国内外の厳選された家具を揃える。



匠大塚会長
大塚勝久氏

匠大塚社長
大塚勝之氏

「確かな価値との出会い」を
あなたはもう体験しただろうか。
匠大塚が国内外より厳選した
高品質の家具と心のこもったもてなしを。
創業者で会長の大塚勝久氏と
社長の大塚勝之氏に、
家具や店づくりに対する思いを聞いた。

2 016年に開業した「匠大塚東京日本橋ショールーム」が話題を呼んでいる。

都心の一等地に建つ高層ビルの25階、3000㎡という広大なワンフロアに国内外から集めた多彩なインテリアが共演。その光景を眺めるだけで心がわくわく躍りだす。

「良いものを、より求めやすく。それも最高の環境、最高の人材、最高のサービスでご提供したい。そのために立ち上げた会社です」

開口一番そう切り出したのは匠大塚の創業者で会長の大塚勝久氏。オープンのきっかけはやはり、あの一件であり、プライドだ。「お客様は価値あるものをお求めになっているのですから、その商品の価値をちゃんと伝えずに売ってはいけません。だからこそ、お客様の気持ちに寄り添う接客スタイルをとっています」

多忙のため、自身でインテリアコーディネートをする時間がない、こういった顧客のなかには医師も多く、病院・クリニックへの提案も長けている。顧客の意向や好みを汲んだ上で、インテリアのプロとしての知見をプラスし、適切な製品、適切なレイアウトを提案する。

「ベテラン揃いの匠大塚なら単なる販売だけでなく、インテリアコーディネートなど、あらゆるニーズにお応えできます。たとえば、オーダーメイドも得意としています」

部屋の間取りや使い勝手など顧客のニーズに合わせた備え付け家具や特注によるオンラインワン商品などは費用が膨らむ傾向があり、イメージとして「特注品は高い」と敬遠されがちだ。しかし、匠大塚では勝久会長の長年のノウハウと職人とのネットワークで高級品ほどかえってリーズナブルに提供できるという。さまざまな家具が、既製品とわずかな価格差で発注できる。「金額面でも満足して頂けるはずですよ」という言葉には確かな裏付けがあるのだ。

一方、社長の勝久氏は、こう話す。「匠大塚はメディアを通してあなたも富裕層限定のようなイメージが先行しているようですが、実は私たちが目指しているのは、家族3世代が笑顔になれる店づくり。幅広い層に向けているため学習機もあります。価格帯も幅広く揃えており、例えばソファであれば数万円のものから数百万円のものまであります。共通するのは確かな品質とお求めやすい価格です。愛着が湧くほど長く使っていただけのものばかりです」

匠大塚は、日本橋の他、これまでの礎を築いた原点である埼玉県春日部に本店を構える。春日部本店は気軽に立ち寄れるインテリアのテーマパークといった趣で、取り扱っている点数は約1万8000点。その規模は日本最大級だ。

質と量を追求するのは、もちろん顧客のためだが、もうひとつ理由がある、それは「家具づくりの伝統や匠」の技術を途絶えさせたいけない」という勝久会長の思いからだ。昔、日本には腕の立つ家具職人が大勢いた。それが大量生産された安価な家具が台頭してきたことで、多くの職人が生計を維持できず、廃業に追い込まれた。それを惜しんだ会長は、看過することなく、各地の職人やメーカーと手を組み、無垢天板など良質な素材を揃え、顧客の要望に合わせた世界でたったひとつのオリジナル家具をつくりだしている。

「以前からやっていたことです。しかし、色々あってやりづらくなってしまいました」と勝久会長は苦笑いし、凛とし直ってこう続けた。「匠大塚は家具に携わってきた私の集大成です。お客様に必ず喜んで頂ける店です」匠大塚のコンセプトは「確かな価値との出会い」。その先にあるのは心豊かな暮らしだ。